

# SC販売統計調査報告 2010年4月

4月既存SC前年比 : -2.8%

## ■概況

2010年4月の既存SCの前年同月売上高は、-2.8%と20ヶ月連続でマイナスとなったが、マイナス幅は前月に比べ1.6ポイント好転した。

3月は-4.4%であったものの、2月(-2.5%)に引き続きマイナス幅は2%台に改善している。例年に比べ気温が低く春物・初夏衣料品の動きが鈍かったが、文化雑貨、身の回り品が好調であることや、買い上げ件数や客単価の減少といった報告は少なく、さらにキーテナントである全国展開のGMSの好調も寄与して、全体の底上げが見られた。本調査対象SCのうち約20%がプラスに転じるなど、持ち直し傾向が見られる。但し、地方の中心地域では空き区画や売場縮小による売上減が著しいことや、GMSにおいても好不調の明暗が分かれており、今後の動向に注視を要する必要がある。ゴールデンウィークは、日並びや好天に恵まれ、対前年同月比大幅増といった報告もみられており、来月の動向に期待したい。

立地別で見ると、郊外地域は-1.3%、特にテナントが-0.3%と前月に比べ大幅に改善した。一方中心地域は全体で-4.6%、そのうち小都市は-5.6%、特にキーテナントは-6.6%と低水準であった。

地域別では、北海道(0.6%)や東北地方(0.0%)がプラスになり、東北地方の周辺地域は2.4%と先月(1.1%)に引き続き好調であった。中部地域は-1.9%で先月(-6.3%)よりも大幅に改善した。一方で西日本の中心地域では-5%~-6%と依然として厳しい状況である。

政令指定都市別で見ると、札幌市(1.0%)、神戸市(0.2%)がプラス、特に神戸市のテナントは3.3%と好調であった。一方で広島市はキーテナントが-9.3%と低調であった。その他地域では、東北が全体(0.1%)、テナント(1.6%)プラスであった。さらに中国地方は全体が-2.9%(先月は-8.8%)、テナントが-1.0%(先月は-10.0%)と大幅に改善している。

※本調査は、2008年12月末現在の全SC2,877SCの中から立地別・SC規模別に1,000SCをサンプル抽出し、調査したものをまとめた。

※集計SC 517SC 回収率 51.7%

表-1 立地別・構成別 売上高伸長率

立地	SC数	総合	テナント	キーテナント
総合	517	-2.8	-2.4	-3.6
中心地域	大都市	68	-4.6	-3.5
	中都市	72	-4.4	-4.8
	小都市	27	-5.6	-6.6
	小計	167	-4.6	-5.1
周辺地域	125	-3.1	-1.8	-5.5
郊外地域	225	-1.3	-0.3	-2.5

(注) ■ 都市規模

大都市 : 政令指定都市(札幌・仙台・千葉・東京区部・川崎・横浜  
・名古屋・京都・大阪・神戸・広島・福岡・北九州の各市)

中都市 : 上記都市を除く人口15万人以上の都市

小都市 : 人口15万人未満の都市

■ 立地 (市・町・村の行政区画単位で区分)

中心(商業)地域 : 当該市・町・村の商業機能が集積した中心市街地

周辺(商業)地域 : 中心地域に隣接した商業・行政・ビジネス等の都市機能が適度に存在する地域

郊外地域 : 都市郊外で住宅地・農地等が展開されている地域

表-2 立地別・地域別 売上高伸長率

地域		総合	北海道	東北	関東	中部	北陸	近畿	中国	四国	九州・沖縄
立地(SC数)											
総合	517	-2.8	0.6	0.0	-3.1	-1.9	-2.4	-3.5	-3.7	-3.3	-1.6
中心地域	167	-4.6	1.9	-1.7	-4.4	-4.1	-3.6	-6.1	-6.5	-5.0	-6.4
周辺地域	125	-3.1	0.0	2.4	-3.3	-3.6	1.4	-5.0	-4.0	-6.0	1.3
郊外地域	225	-1.3	-2.8	0.4	-1.3	-0.7	-3.0	-1.6	-1.7	-2.0	0.5
(SC数)		517	15	30	176	53	39	125	27	14	38

(注) ■ 地域

北海道 : 北海道

東北 : 青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県

関東 : 茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県

北陸 : 新潟県・富山県・石川県・福井県

中部 : 長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県

近畿 : 滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県

中国 : 鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県

四国 : 徳島県・香川県・愛媛県・高知県

九州・沖縄 : 福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

表-3 都市規模別・地域別  
売上高伸長率

都 市	SC数	総 合	テナント	キーテナント	
総 合	517	-2.8	-2.4	-3.6	
政 令 指 定 都 市	札 幌 市	9	1.0	1.0	0.0
	仙 台 市	3	-0.4	-0.3	-1.4
	千 葉 市	6	-3.0	-3.0	0.0
	東 京 区 部	47	-3.7	-3.3	-4.9
	横 浜 市	17	-5.0	-5.5	-3.2
	川 崎 市	4	-6.9	-7.4	-4.9
	名 古 屋 市	11	-4.8	-4.4	-6.5
	京 都 市	12	-2.3	-4.2	-0.1
	大 阪 市	28	-5.4	-5.6	-3.8
	神 戸 市	18	0.2	3.3	-6.2
	広 島 市	7	-6.7	-5.9	-9.3
	北 九 州 市	2	-4.8	-5.2	-3.0
	福 岡 市	6	-5.7	-6.4	-0.8
	小 計	170	-3.7	-3.6	-4.2
そ の 他 の 地 域	北 海 道	6	-2.4	-2.3	-2.5
	東 北	27	0.1	1.6	-2.5
	関 東	102	-2.2	-1.8	-3.0
	中 部	42	-1.0	-1.4	-0.4
	北 陸	39	-2.4	0.0	-5.5
	近 畿	67	-3.7	-2.6	-4.5
	中 国	20	-2.9	-1.0	-5.2
	四 国	14	-3.3	-3.5	-3.2
	九 州・沖 縄	30	-0.2	1.6	-4.2
小 計	347	-2.2	-1.3	-3.4	

※「その他の地域」には、政令指定都市は含まない。

※2003年以降、さいたま市、静岡市、浜松市、新潟市、堺市、岡山市が、2010年4月は相模原市が政令指定都市となったが、さいたま市、相模原市は関東地域、静岡市・浜松市は中部地域、新潟市は北陸地域、堺市は近畿地域、岡山市は中国地域に含めた。

表-4 キーテナント業態別  
売上高伸長率

キー業態	SC数	%		
総 合	517	-2.8		
核なし	235	-3.1		
1 核	Dpt	19	-3.2	
	GMS	136	-2.2	
	SM	49	-4.1	
	SS	2	-9.0	
	HC	0	-	
	DS	3	-10.0	
	専門店	7	-2.1	
	生協	8	-10.6	
	農協	1	-6.3	
	Dgs	0	-	
	小 計	225	-2.9	
	2 核	Dpt+GMS	5	0.7
		Dpt+SM	2	-6.8
		Dpt+SS	0	-
Dpt+HC		0	-	
GMS+SM		2	-3.5	
GMS+SS		0	-	
GMS+HC		6	-4.5	
GMS+専門店		5	1.0	
SM+SS		4	-2.1	
SM+HC		4	1.3	
SM+DS		5	-4.0	
SM+専門店		7	-4.4	
DS+専門店		0	-	
生協+HC		1	-9.3	
その他	6	-0.7		
小 計	47	-1.8		
3 核	Dpt+GMS+SS	0	-	
	Dpt+GMS+HC	2	-4.4	
	GMS+SS+HC	0	-	
	GMS+DS+HC	0	-	
	SM+SS+HC	0	-	
	その他	8	-0.7	
小 計	10	-1.5		
4 核	その他	0	-	
小 計	0	-		

既存SC売上高伸長率推移(過去1年間)

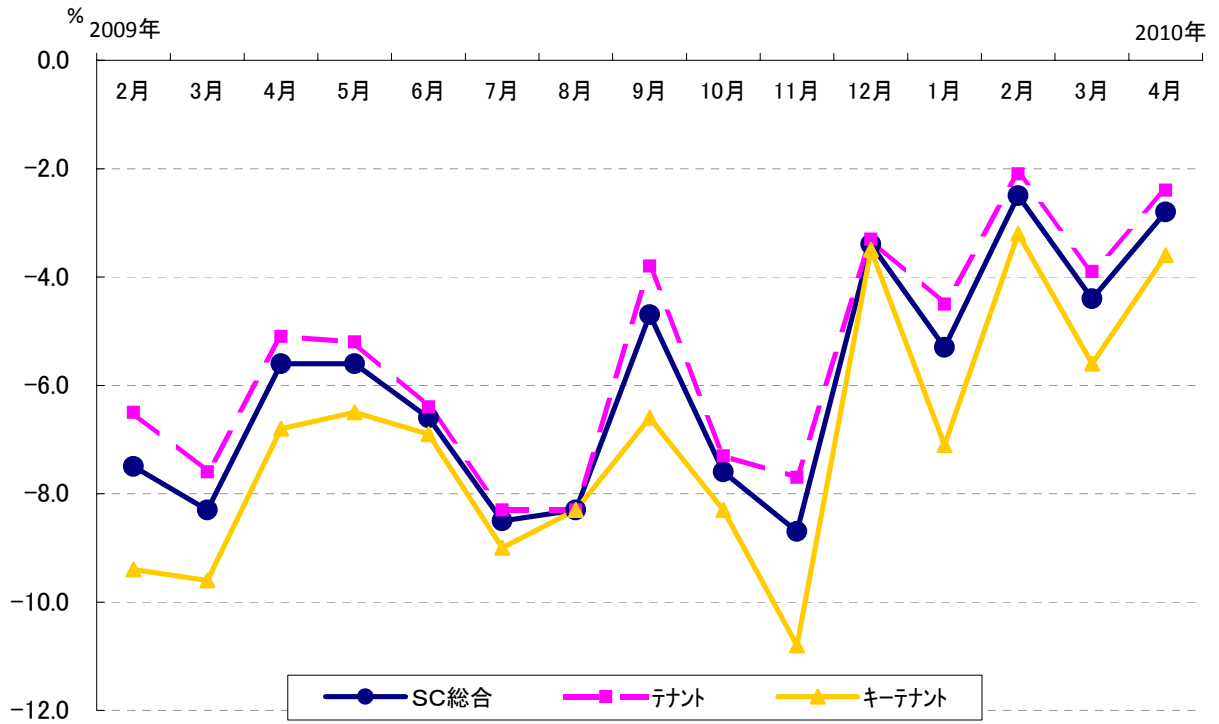
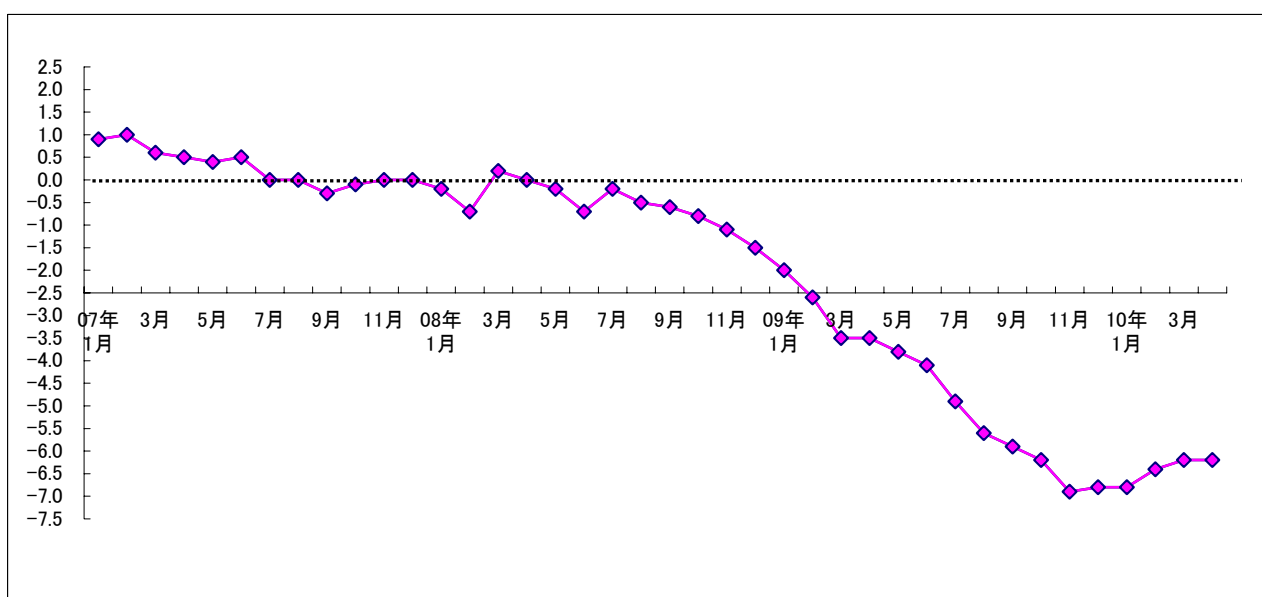


表-5 既存SC移動平均(年間)

	2010	2009	2008	2007	2006
1月	-6.8	-2.0	-0.2	0.9	0.2
2月	-6.4	-2.6	-0.7	1.0	0.6
3月	-6.2	-3.5	0.2	0.6	1.0
4月	-6.2	-3.5	0.0	0.5	1.1
5月		-3.8	-0.2	0.4	1.2
6月		-4.1	-0.7	0.5	1.2
7月		-4.9	0.0	0.0	1.2
8月		-5.6	-0.5	0.0	1.2
9月		-5.9	-0.6	-0.3	1.2
10月		-6.2	-0.8	-0.1	1.1
11月		-6.9	-1.1	0.0	0.8
12月		-6.8	-1.5	0.0	0.3



(注1) 移動平均(年間): 該当月を含めて過去1年間の平均値を算出したもの。季節変動による特殊要因や曜日・祭日などの影響が取り除かれ、方向感が把握しやすくなる。

\* 例えば、2010年4月の移動平均は、2009年5月～2010年4月の累計売上に対する前年比です。

$$\left( \frac{2009年5月 \sim 2010年4月}{2008年5月 \sim 2009年4月} - 1 \right) \times 100 = 4月の移動平均伸率(\%)$$

表-6 SC・百貨店・チェーンストア 売上高前年対比

		SC数	S C			百貨店	チェーン ストア
			既存SC				
			SC総合	テナント	キーテナント		
年別	00年	(185)	-3.4	-3.1	-3.7	-2.2	-5.1
	01年	(255)	-2.2	-1.4	-3.3	-0.4	-5.2
	02年	(328)	-2.1	-2.1	-2.1	-2.3	-2.1
	03年	(462)	-1.6	-0.8	-2.4	-2.8	-3.2
	04年	(522)	-1.7	-0.9	-2.9	-2.8	-3.5
	05年	(550)	0.3	1.5	-1.9	-0.2	-2.6
	06年	(523)	0.3	0.9	-0.7	-0.7	-2.7
	07年	(515)	-0.0	0.3	-0.6	-0.5	-1.4
	08年	(553)	-1.5	-1.1	-2.3	-4.3	-0.7
	09年	(507)	-6.8	-6.5	-7.4	-10.1	-4.3
2010四半期別	(1～3月)	(551)	-4.2	-3.6	-5.5	-4.9	-4.7
2009月別	1月	(567)	-4.4	-3.6	-6.2	-9.1	-2.7
	2月	(570)	-7.5	-6.5	-9.4	-11.5	-5.4
	3月	(573)	-8.3	-7.6	-9.6	-13.1	-4.0
	4月	(567)	-5.6	-5.1	-6.8	-11.3	-3.7
	5月	(573)	-5.6	-5.2	-6.5	-12.3	-2.0
	6月	(562)	-6.6	-6.4	-6.9	-8.8	-4.4
	7月	(581)	-8.5	-8.3	-9.0	-11.7	-4.8
	8月	(538)	-8.3	-8.3	-8.3	-8.8	-3.4
	9月	(545)	-4.7	-3.8	-6.6	-7.6	-2.4
	10月	(524)	-7.6	-7.3	-8.3	-10.5	-5.2
	11月	(542)	-8.7	-7.7	-10.8	-11.8	-8.0
	12月	(557)	-3.4	-3.3	-3.5	-5.0	-5.0
2010月別	1月	(557)	-5.3	-4.5	-7.1	-5.7	-4.9
	2月	(541)	-2.5	-2.1	-3.2	-5.4	-2.4
	3月	(546)	-4.4	-3.9	-5.6	-3.5	-6.6
	4月	(517)	-2.8	-2.4	-3.6	-3.7	-4.9
出典			日本ショッピングセンター協会			百貨店 協会	チェーン ストア協会

調査分析

(社)日本ショッピングセンター協会 情報企画部  
TEL 03-3536-8121 <http://www.jcsc.or.jp>